

神石高原 かがやきネット

旧行政放送の運用終了について



主な番組のご紹介です。

- かがやき便り** 神石高原町の話題
- 番組案内** 多チャンネルサービスの案内
- フリータイム** 特集番組
- 特バン** 議会、講演会や行事の様子など
- 知っ得ネット** 神石高原町、府中市や新市の情報
- チャンネル700** ドキュメンタリーや音楽など

※QVC、ショップチャンネル、ジャパネットたかたはテレビショッピング番組です。

旧行政放送の運用終了について

豊松地区で行っていましたがオフトーク放送は既に運用を終えています。油木、神石、三和地区で現在行っている、防災無線放送及び有線放送についても、6月末で終了します。長い間、ご利用ありがとうございました。

新たに整備した“神石高原かがやきネット”による行政放送についても末永くご利用いただきますようお願いします。

旧行政放送で使用した機器等の撤去について

油木・神石地区の防災無線受信機、豊松地区のオフトーク機器及び三和地区の有線放送電話機などについて、自治振興会の皆様にご協力いただき撤去することとなりました。

撤去した機器（端末機、端末機に附属する家屋内配線やアンテナ（建柱アンテナを除く）及び保安器）は、役場本庁又は各支所へご持参ください。

撤去した機器1台あたり1,500円の補助金を交付します。この補助金交付に係る申請は、平成23年12月末日までに振興会又は振興会班でまとめて行ってください。

詳しくは、まちづくり推進課情報政策室へお問い合わせください。

ページング放送 ※特定範囲放送サービス

振興会内、振興会班内などへのページング放送が利用できるようになりました。利用できる方は、振興会長、振興会班長などで、利用できる時間帯は次のとおりです。

利用時間帯：定時放送時間を除く午前6時から午後9時まで
※定時放送後15分間はお速慮ください。



コミュニティチャンネル ★11ch★

朝	月・火・木・金	水・土・日
6	00 かがやき便り	00 かがやき便り
	15 知っ得ネット	15 CCJニュース
	20 案内番組	
	35 フリータイム	45 知っ得ネット
	50 知っ得ネット	
7	00 かがやき便り	00 かがやき便り
	15 知っ得ネット	15 CCJニュース
	20 案内番組	
	35 フリータイム	45 知っ得ネット
	50 知っ得ネット	
8	00 チャンネル700	00 チャンネル700
9	00 特バン	00 特バン
10		
11	00 チャンネル700	00 チャンネル700
12	00 かがやき便り	00 かがやき便り
	15 知っ得ネット	15 CCJニュース
	20 案内番組	
	35 フリータイム	45 知っ得ネット
	50 知っ得ネット	
13	00 かがやき便り	00 かがやき便り
	15 知っ得ネット	15 CCJニュース
	20 案内番組	
	35 フリータイム	45 知っ得ネット
	50 知っ得ネット	
14	00 チャンネル700	00 チャンネル700
15		
16	00 QVC	00 QVC
17	00 ショップチャンネル	00 ショップチャンネル
18	00 かがやき便り	00 かがやき便り
	15 知っ得ネット	15 CCJニュース
	20 案内番組	
	35 フリータイム	45 知っ得ネット
	50 知っ得ネット	
19	00 かがやき便り	00 かがやき便り
	15 知っ得ネット	15 CCJニュース
	20 案内番組	
	35 フリータイム	45 知っ得ネット
	50 知っ得ネット	
20	00 特バン	00 特バン
21		
22	00 かがやき便り	00 かがやき便り
	15 知っ得ネット	15 CCJニュース
	20 案内番組	
	35 フリータイム	45 知っ得ネット
	50 知っ得ネット	
23	00 かがやき便り	00 かがやき便り
	15 知っ得ネット	15 CCJニュース
	20 案内番組	
	35 フリータイム	45 知っ得ネット
	50 知っ得ネット	
24	00 ジャパネットたかた	00 ジャパネットたかた

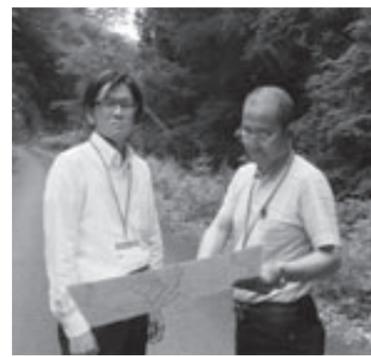
お問い合わせ先 情報政策室 ☎0847-89-3352(町内電話 33-89-3352)
株式会社ケーブル・ジョイ ☎0847-45-0557(府中)
同上 神石高原事務所 ☎0847-89-0012(油木)

ホームページ <http://www.ccjnet.ne.jp/~kagayaki/>

人と自然が輝く高原のまち 新しい町づくりに向けて 地域おこし協力隊 集落支援員

町では、平成21年度から、特に小規模で高齢化率の高い集落を「源流の里」と位置づけ、地域のコーディネート・アドバイザーとして集落支援員を配置し、地域等の課題解決に向けた取り組みを進めています。

本年8月からは集落支援員を自治振興会単位に配置を拡大すると共に、都市部から地域の住民と力を合わせ地域活性化等に取り組む人材「地域おこし協力隊」を2名公募し、その定住・定着を図り、地域力の維持・強化を図る取り組みをスタートします。



大杉集落支援員(右)から地域の状況説明を受ける谷口協力隊員(左)

活動に携わっていただきます。町民の皆さんのご支援ご協力をお願いします。

地域おこし協力隊員のご紹介

6月1日(水)に神石高原町地域おこし協力隊として委嘱された、谷口哲一(たにぐちのりかず)さん(36歳)をご紹介します。

谷口さんは、広島市南区から神石高原町へ移り住み、平成25年3月まで地域を変えていく新たな担い手として8月から活動を本格化します。主な業務は、自治振興会・集落支援員や町等と連携しながら、地域行事のコミュニティ活動の応援や地域おこし支援等、地域の状況や隊員の特性に応じた支援

「集落支援員」とは?

集落支援員は、人口減少や過疎化が深刻な集落を、町とも連携しながら集落への「目配り」として、集落の巡回、状況把握等の集落点検の実施をし、住民と住民・住民と町との間での話し合いを促進するなど、集落の課題を「自らの地域の課題」と考え、集落の維持・活性化を図るものです。

「地域おこし協力隊」とは?

総務省は、平成21年度から地域おこし活動を応援する新たな制度を始めています。これは、人口減少や高齢化の進行が著しく後継者が不足している地方において、都市部の人材を「地域おこし協力隊」として積極的に誘致し、その定住・定着をはかり地域力を維持・強化しようというものです。高齢化による過疎化に歯止めをかけ、集落が今後も維持できるような地域活動の担い手を外部に求め、様々な人材の移住・定住を進めて地域の活性化に寄与しようという狙いがあります。

町内4中学校と油木高校が“教育効果向上をめざして” 連携型中高一貫教育 に取り組みます!

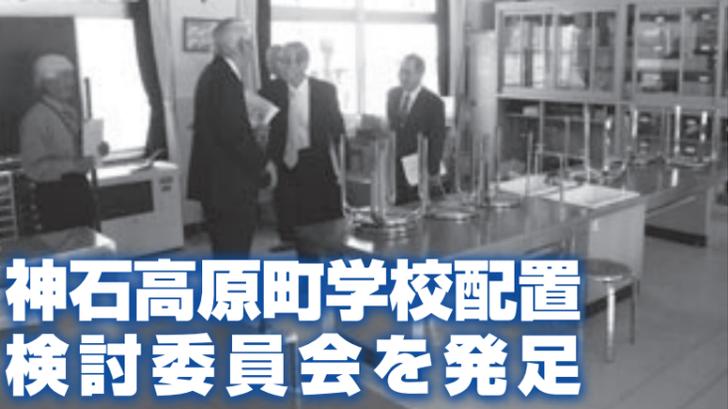
神石高原町教育委員会は、本年3月に神石高原町中高一貫教育検討委員会より答申を受け、「連携型の中高一貫教育を推進する」としました。

そこで、本年度より地元油木高校と町内4中学校が「教育効果の向上」をめざして、教育活動連携を一層充実させ、数年後には県の指定が受けられるよう連携型中高一貫教育の取り組みを進めていきます。



今後は中高一貫教育に関する広報誌を年3回発行し、みなさんにお伝えします。

学校見学の様子



神石高原町学校配置 検討委員会を発足

少子化が急速に進む本町では、今ある学校規模や通学方法など将来に向けたよりよい教育環境の検討が必要です。このため、地区やPTAの代表など13名で組織する「神石高原町学校配置検討委員会」を4月27日(水)に発足しました。

5月には、学校施設の現状を見学した後、本格的な議論を始めました。

毎月1回のペースで議論を重ね、9月には一定の方向性を示していく予定です。また、議論された内容は順次公表していきます。